メッセージ　5

生ける石と羊

聖書：Ⅰペテロ 2:4-5．ゼカリヤ 3:9．4:10．
ヨハネ 10:11-16．エゼキエル 34:11-31

Ⅰ．信者は生ける石によって象徴されており、キリストの石の性質をもって造り変えられて、神の霊の家になる人です――Ⅰペテロ 2:4-5：

A．わたしたち、キリストにある信者は、再生と造り変えを通して、キリストのように、生ける石となります。わたしたちは土くれから創造されましたが（ローマ 9:21）、再生の時、神聖な命の種を受けました（Ⅰペテロ 1:23-24）。この種はわたしたちの中で成長することによって、わたしたちを造り変えて生ける石とならせます：

1．ペテロが回心した時、主は彼にペテロ、すなわち石という新しい名を与えました（ヨハネ 1:42）。またペテロがキリストに関する啓示を受けた時、主はご自身が岩、すなわち石であることをさらに啓示しました（マタイ 16:16-18）。

2．この二つの出来事によって、ペテロは、キリストと彼の信者たちが神の建造のための石であるという印象を受けました――Ⅰペテロ 2:4-5。

B．キリストは、神の建造の生ける石、土台の石、隅の石、頂石です。キリストにある信者は、神から生まれた後、造り変えられて生ける尊い石となって、神の霊の家としての召会を建造します――4 節．Ⅰコリント 3:11．イザヤ 28:16．使徒 4:11．ゼカリヤ 4:7．ヨハネ 1:12-13, 42．Ⅰペテロ 2:5-7．Ⅰコリント 3:12．マタイ 16:18。

C．キリストは石として七つの目を持っており、七つの目は神の七つの霊、すなわち七倍に強化された霊を表徴します（ゼカリヤ 3:9．4:10）。七倍に強化された霊はまた、小羊の七つの目（啓 5:6）と、神の御座の前で燃える七つのともし火（4:5）とによって表徴されます：

1．ともし火は、照らし、探り、暴露し、裁き、焼くためであり、目は注入するためです。七つの目は、小羊・石であるすべてをわたしたちの存在の中へと注入して、わたしたちを彼の金の燭台とならせます――ゼカリヤ 4:2-6，11-14。

2．わたしたちが生ける石となる道は、彼に来て彼によって見つめられることです。主はわたしたちを照らし裁くとき、わたしたちを見つめ、ご自身をわたしたちの中へと注入して、わたしたちを彼のかたちへと造り変えます。わたしたちはみな、七つのともし火が照らすこと、七つの目が見つめること、七倍に強化された霊が命を分け与えることの下にいる必要があります。

3．キリストは、神の恵みの生ける石として、彼に対するわたしたちの主観的な経験を通して、わたしたちの存在の中へと構成し込まれるとき、わたしたちの安息のための枕となって、わたしたちを神の建造における柱とならせます――創 28:11-12，17-19 前半．ゼカリヤ 4:7．マタイ 11:28-30．ヨハネ 1:16-17，51。

D．最終的に、団体のキリスト、勝利を得た花嫁を伴うキリストは、石として来て、人の統治の集大成を打ち砕き、神の王国をもたらします――ダニエル 2:34-35．ヨエル 3:11．啓 19:11-21．参照、創 1:26：

1．キリストの口から鋭い剣が出ており、彼はそれをもって諸国民を打ちます――啓

19:15 前半．参照、1:16．2:12，16。

２．わたしたちはキリストで構成され、キリストとミングリングされて、団体の打つ石、すなわち彼の団体の戦士・勝利者となるために、敵を対処する殺す言葉を必要とします。わたしたちは御言葉を祈り読みして、殺す道具としての剣を経験すべきです――エペソ 6:17-18。

Ⅱ．信者は羊によって象徴されており、キリストの有機的な牧養の下にいる人です――ヨハネ 10:11-16．**詩** 23:1．**マタイ** 9:36．**ヘブル** 13:20：

Ａ．主ご自身は牧者として来て、彼の羊を捜し、尋ね出します――エゼキエル 34:11-31．ルカ 15:3-7．啓 7:17．ヨハネ 21:15-17．Ⅰペテロ 2:25．5:3-4。

Ｂ．主は彼の羊を彼ら自身の地と高い山々へともたらします。地はカナンの良き地としてのキリストを表徴し、高い山々は復活し昇天したキリストを表徴します――エゼキエル 34:13-14．コロサイ 1:12。

Ｃ．主は彼の羊を、命を与える霊を表徴する小川に連れ戻します。そして彼の羊の群れを小川のほとりで養います。これは、彼が信者をご自身の豊富をもって養うことを表徴します――エゼキエル 34:13．啓 22:1-2 前半．Ⅰコリント 12:13．詩 36:8。

Ｄ．主は彼の羊を良い肥えた牧場に連れ戻します。これは、わたしたちの命の供給としてのキリストを表徴します。そして、主は彼らを伏させます。これは、主が彼らに内なる安息を与えることを示します――エゼキエル 34:14-15．詩 23:2．ヨハネ 10:9．マタイ 11:28-30。

Ｅ．主は傷ついた者を包み、病んでいる者を力づけます。彼のはぐくみと養いを通して、彼はすべての弱い羊を、戦いの威厳ある馬とならせます――エゼキエル 34:16 前半．ゼカリヤ 10:3．11:7。

Ｆ．主は義なる裁きを行使して、神の回復された民の間にあるすべての不正な事柄を一掃します。わたしたちを養い供給する方は、わたしたちに他の人との関係に関して適切な感覚を持たせます。わたしたちはそのような感覚を持つとき、自分自身を裁き、その結果、聖徒たちと真の一を持ち、一つの群れとなります――エゼキエル 34:17-22．コロサイ 3:15。

Ｇ．真のダビデとしてのキリストは、牧者として立てられてわたしたちを養い、わたしたちが満たされ満足するようにします。彼はわたしたちを、すべての問題、責任、わたしたちの生活のあらゆる面を含めて顧みます。主が牧者としてわたしたちを顧みた結果は、わたしたちが王としての彼に服従し、彼の王職の下に来ることです――エゼキエル 34:23．詩第 23 篇．啓 7:17．22:1-2 前半。

Ｈ．わたしたちが主の牧養を経験し、彼の王職の下にとどまるとき、わたしたちは彼の平安の契約を享受します。この平安の契約は安全であり、変わることがありません。そして、わたしたちはもはや霊的な困難や妨げに左右されなくなります――エゼキエル 37:24-28：

１．主の牧養の下で、すべての邪悪な獣、すなわち邪悪な人は、主の回復された民から遠ざけられます――34:25 前半．参照、使徒 20:28-29．ピリピ 3:2-3。

２．主はわたしたちのくびきを壊し、わたしたちを奴隷状態から救い出し、そしてわたしたちが敵の餌食になることがなく、平安と安全のうちに住むことを約束し

てくださいます――エゼキエル 34:25 後半，27 後半-28。

Ｉ．主の牧養を経験することを通して、神の回復された民は神の臨在を持ち、神は彼らの間におり、彼らは神の御前にいます。これが描写しているのは、神との完全な交わり（一の中にある、神と人とのミングリングの中にある交わり）です。この交わりの中で、わたしたちは神と一であり、彼はわたしたちと一です――30-31 節。

Ｊ．主の牧養を通して、主はわたしたちを彼の祝福の享受の中へともたらし、わたしたちを祝福の大雨の下で、祝福の源とならせます――26-27 節前半，29 節．創 12:2-3．ローマ 15:29．Ⅱコリント 1:12，15．ゼカリヤ 10:1：

１．民数記第 6 章 23 節から 27 節の祝福は、Ⅱコリント第 13 章 14 節の祝福と同じように、三一の神の永遠の祝福です。それは、三一の神が彼の神聖な三一の中で、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの享受となることです。

２．主の祝福を受けるためには、わたしたちは一を実行しなければなりません。そして一の実行は一つ思いです――詩第 133 篇．エペソ 4:3-4 前半．使徒 1:14．2:46．ローマ 15:5-6。

©2026 Living Stream Ministry